

# 毎月第3日曜日は「家庭の日」

～家族の心の触れ合いを大切に～

県は、家族の心の触れ合いを大切に作る日として、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めています。皆さんのアイデアで、「家庭の日」を家族が温かい心の触れ合いを持ち、明るく楽しく過ごす1日に見ませんか。

◎問い合わせ 生涯学習課 ☎23-9545



## こんな「家庭の日」を過ごしてみませんか

家族が触れ合いを持つためには、次の「5つの共感活動」が重要になります。

- ①共遊** 自然に親しんだり、地域行事などに参加したりして、家族一緒に遊びましょう。
- ②共食** 家族一緒に楽しく語りながら食事をしましょう。
- ③共話** その日あった出来事などを、家族で話し合しましょう。
- ④共汗** スポーツや野外活動に家族そろって参加し、心地よい汗を流しましょう。
- ⑤共働** 家の掃除や地域の奉仕活動などに積極的に参加し、家族一緒に働きましょう。



## 「家庭の日」市の取り組み

市では、「地域の子どもは地域で守り育てる」という視点を一層深め、親と子をはじめ、家族の心の触れ合いを推進し、家族の良さを再認識してもらうため、家庭や学校、地域と連携して、県が定めた「家庭の日」の普及に取り組んでいます。

また、「家庭の日」に家族で市内文化施設へ来館する際の入場料を無料としています。対象の施設は次のとおりです。

### ●施設・対象者

都城歴史資料館	☎25-8011
高校生以下の子どもまたは妊娠中の人がある家庭	
都城島津邸	☎23-2116
18歳未満の子ども連れの家庭	
山之口麓文弥節人形浄瑠璃資料館	☎57-5295
高校生以下の子ども連れの家庭	
高城郷土資料館	☎58-5963
高校生以下の子どもまたは妊娠中の人がある家庭	

## 「家庭の日」を応援！子育て応援カードでお得に過ごそう！

県内に居住し、高校生以下の子どもまたは妊娠中の人がある家庭に交付する「子育て応援カード」。協賛店でカードを提示することで、全国47都道府県で、優待や割引などの各種サービスを受けられます。



### 【子育て応援カードの取得方法】

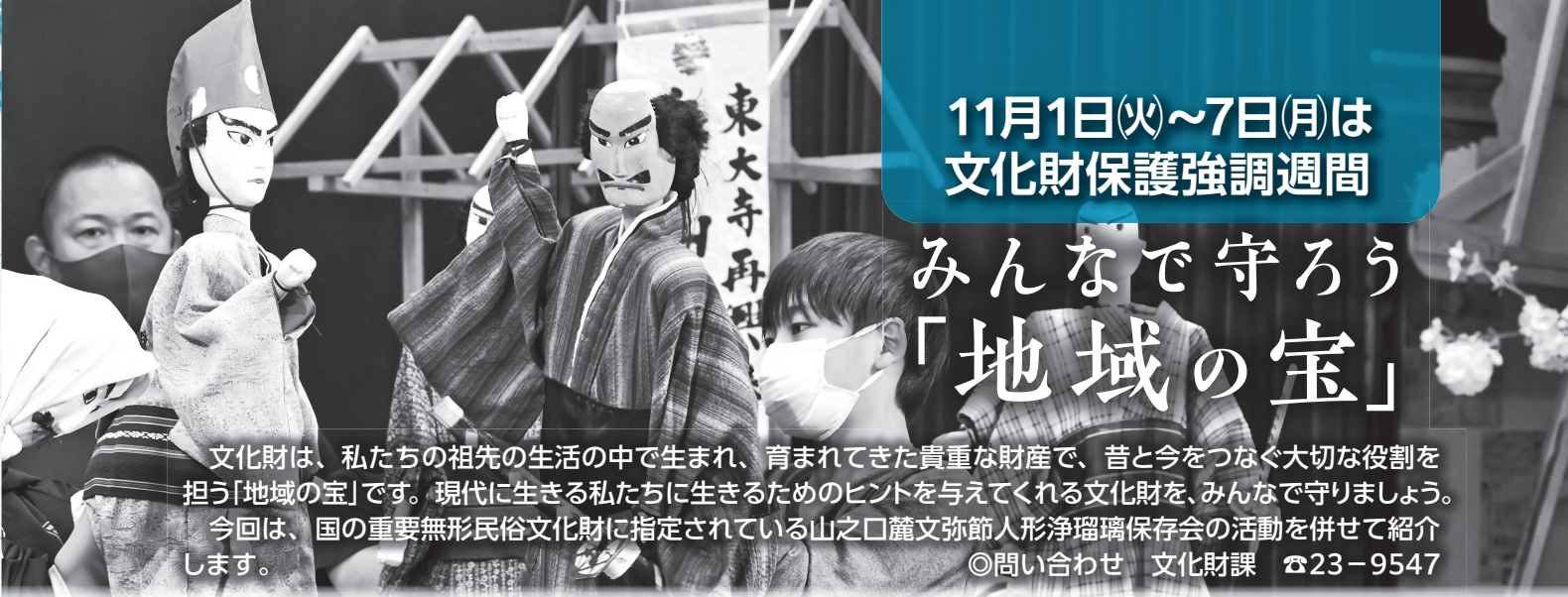
- 「宮崎県子育て応援カードポータルサイト」で新規登録し、デジタルカードを取得する
  - こども課の窓口で紙のカードを受け取る
- ※紙のカードの新規・再発行は、在庫限りとなります。なお、既に発行されているカードは引き続き使用することができます



### 【協賛店を募集！】

子育て応援サービスを実施する協賛店を募集しています。県ホームページなどで紹介されるので、協賛店のイメージアップにもつながります。

- 申込方法 「宮崎県子育て応援カードポータルサイト」から登録申請



11月1日(火)～7日(月)は文化財保護強調週間

## みんなで守ろう「地域の宝」

文化財は、私たちの祖先の生活の中で生まれ、育まれてきた貴重な財産で、昔と今をつなぐ大切な役割を担う「地域の宝」です。現代に生きる私たちに生きるためのヒントを与えてくれる文化財を、みんなで守りましょう。今回は、国の重要無形民俗文化財に指定されている山之口麓文弥節人形浄瑠璃保存会の活動を併せて紹介します。

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

### 文化財保存の現状

市内には、多くの有形・無形文化財や民俗芸能が伝わっています。地域住民が大切に保存・継承してきましたが、現在では、少子高齢化や価値観の多様化など、文化財を守る環境が変化してきています。そのため、荒廃したり、破壊されたりしている文化財もあります。

### 文化財保護の取り組み

市では、国や県、市指定の文化財を中心に、地域住民と連携して保護に取り組んでいます。また、市内各地にある未指定の史跡なども、管理している個人や団体に対して必要に応じて補助を行っています。

### 遺跡―足元に眠る文化財―

市内には、千力以上の遺跡が確認されています。これらは「埋蔵文化財」と呼ばれる国民共有の財産です。しかし、地下にあるため、知らないうちに工事などで影響を与えてしまっている場合があります。遺跡を守ることは、私たちの大事な歴史を守ることに繋がります。

### その工事、ちょっと待って！

開発や工事、家屋の建築などを計画したときは、遺跡を守るために次の手続きが必要で

- ①遺跡の範囲の照会
  - ②試掘・確認調査
  - ③埋蔵文化財の保護
- 詳しくは、文化財課までお問い合わせください。



試掘・確認調査の様子

### 市民の協力で守られる文化財

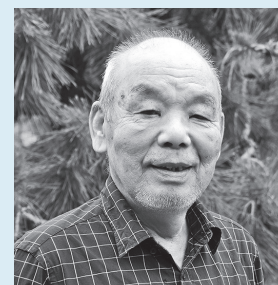
市内には、地下に穴を掘って造る「地下式横穴墓」という古墳が多く存在が確認されることも多く、その保護につながっています。

### 「地面に穴が開いた！」市民からの連絡をきっかけに1500年前の古墳を発見！



加治屋地下式横穴墓(南横市町)

## 先人の思いを守り、伝えていく



山之口麓文弥節人形浄瑠璃保存会 会長 前田 公友さん

山之口麓文弥節人形浄瑠璃は、太平洋戦争などの影響で一時途絶えたものの、昭和26年に保存会を立ち上げて以来、現在まで麓地区の先人らが守り伝え続けてきました。麓小学校での伝承活動は今年で28年目を迎えます。価値観が多様化する時代の中で、次の世代

が浄瑠璃についてどう考えるかは正直分かりませんが、まずは児童らに人形に触れてもらい、浄瑠璃が「なぜ麓地区に残り続けてきたのか」を考えてもらいたいと思っています。40年後、50年後にも先人らの思いを守り続けていけたら…。そう願い、活動を続けています。